



雪印メグミルク

CONTENTS

■ 社長ごあいさつ	P1
■ 2018年度の取組み	P2
■ 春の新商品・改良品	P3
■ 中期経営計画の達成に向けて	P5
■ TOPICS	P6
■ 財務状況	P7
■ セグメント別業績の概況	P9
■ 会社概要・株式の状況	P10



証券コード：2270

雪印メグミルク株式会社
MEGMILK SNOW BRAND Co.,Ltd.

株 主 通 信

第9期 2017年4月1日から2018年3月31日まで



株主の皆様には日頃より多大なご支援をいただき、厚く御礼を申し上げます。

2017年度決算について

2017年度のわが国経済は、景気は緩やかに回復しており、今後もその継続が期待される一方で、海外経済の不確実性や、金融資本市場を中心とした不安定な状況に対する懸念が続きました。

食品業界においては、節約の動きが継続してみられる一方で、機能を訴求した商品を求める動きも強まるなど、消費者の価値観が多様化する中で様々な需要が生まれました。

このような経営環境下、当社グループは「グループ中期経営計画2019」に基づき、収益基盤の複数化およびキャッシュ・フローの最大化に取り組みました。

乳製品事業分野では、チーズなどの主力商品のブランド強化、市乳事業分野では、機能性ヨーグルトなどの高付加価値商品の販売拡大に伴うプロダクトミックスの改善に努めました。本年3月には「ガセリ菌SP株ヨーグルト」商品群のさらなる販売拡大に向け、小型プラボトルタイプの生産能力を増強、個食タイプは特定保健用食品(トクホ)でリニューアル発売するなどの取組みも実現いたしました。そのほか、ニュートリション事業分野では新市場への展開拡大、飼料・種苗事業分野では、新研究棟を活かした商品開発の推進など、将来の成長に向けた収益基盤の強化を図りました。

以上の結果、連結売上高は5,961億円(前期比101.4%)、連結営業利益は193億円(前期比103.3%)、連結経常利益は209億円(前期比103.6%)、親会社株主に帰属する当期純利益は133億円(前期比103.1%)と増収増益となり、中期経営計画の初年度として、順調なスタートを切りました。

2018年度見通し

2018年度の連結業績予想は、売上高は6,050億円(前期比101.5%)、営業利益は190億円(前期比98.1%)といたしました。原料乳価格や物流コスト、労務費などが上昇傾向にあるなど、経営環境に様々な変化がみられる中、チーズ・ヨーグルトの販売拡大やプロダクトミックスの改善などに適切に対応してまいります。

今後もこれまでの取組みの成果、投資効果を一段と追求していくことで中期経営計画の目標を達成してまいります。

株主様への配当について

2017年度の配当は、当初の予定通り1株当たり40円といたしました。また、2018年度の配当も1株当たり40円を予定しております。

このたびは、連結子会社である雪印種苗株式会社での種苗法に違反する行為などに関しまして、株主の皆様には大変ご迷惑とご心配をおかけいたしましたことを心よりお詫び申し上げます。

今後、再発防止とともに、当社グループ全体のコンプライアンス強化に改めて取り組んでまいります。

今後とも、ご支援を賜りますよう、よろしく願い申し上げます。

代表取締役社長
西尾 啓治

2018年度の取組み

事業の主な取組み



バター、油脂、チーズ(国内・海外)

乳製品事業

チーズ: プロモーション強化などの販売対策

6Pチーズや『さけるチーズ』などの主力商品を中心としたプロモーションにより販売拡大を図ります。

チーズ: 価格改定・容量変更の実施

経営環境の変化によるコストアップについて、企業努力による吸収の範囲を超えることから価格改定・容量変更を実施しました。

マーガリン: トランス脂肪酸を低減した商品改良を最大限活用

新CMのご紹介

さけるチーズ

新CMでお子様をはじめ家族全員で楽しめるおいしさをお伝えし、『さけるチーズ』がおやつやおつまみに合うことを訴求しています。



6Pチーズ

ロングセラーの『6Pチーズ』は新CMを制作し、食べ方の広がりをお訴求していきます。



牛乳・乳飲料、ヨーグルト、果汁・野菜・清涼飲料、デザート

市乳事業

ヨーグルト: ガセリ菌SP株ヨーグルトの販売拡大

新商品発売や特定保健用食品にリニューアルした「ガセリ菌SP株ヨーグルト」商品群を中心に、さらなる販売拡大を図ります。



「ガセリ菌SP株」商品群

デザート: 新たな製造ラインの活用

ルナ物産(株) デザートライン新設



ルナ物産外観



生産商品



粉乳(国内・海外)、機能性食品等

ニュートリション事業

機能性食品: 積極的なマーケティング投資の継続

粉ミルク等: 大人向け粉ミルクの育成と拡大



飼料・種苗

飼料、種子(牧草・飼料作物・野菜)、造園等

飼料・種苗事業

種苗: 新研究棟の活用による商品開発の取組み

飼料: 持続可能な酪農経営に向けた総合提案型営業の推進

乳食品



家庭用マーガリン類・ショートニングの全ての商品について、原料油脂にトランス脂肪酸を多く含む「部分水素添加油脂」を使用しない配合を実現しました。

Q トランス脂肪酸とは？

A 脂質の構成成分である脂肪酸の一種で、加工油脂やそれらを使用した加工食品に含まれています。

トランス脂肪酸は、長期間の過剰摂取により冠動脈疾患の発症リスクが高まると言われています。

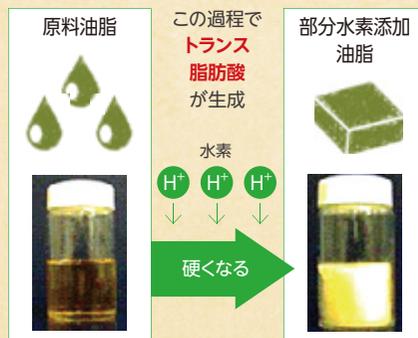
脂肪酸の一種で加工油脂やそれらを使用した加工食品に含まれる。



Q 部分水素添加油脂とは？

A トランス脂肪酸を多く含む油脂で、原料油脂の一部に水素を添加して硬さや融点を調整したものです。

原料としてマーガリン類・ショートニングだけでなく、様々な食品に使用されています。



Q 日本人のトランス脂肪酸の摂取量はどれくらいなの？

A 日本では、内閣府食品安全委員会において、2012年3月(2015年6月19日更新)に「食品に含まれるトランス脂肪酸に係る食品健康影響評価」が取りまとめられ、日本人の大多数はトランス脂肪酸の摂取量が世界保健機関(WHO)の目標(総エネルギー比1%未満)を下回っており、通常の食生活では健康への影響は小さいこと、また、脂質は重要な栄養素であるため、バランスの良い食事を心がけることが必要と示されています。

1人あたりの一日に摂取するトランス脂肪酸

	調査年	摂取量 (g/人/日)	総エネルギー摂取量に占める割合(%)
アメリカ	1994~1996年	5.8*1	2.6%
	1998年	1.56*2	0.7%
	2007年	0.7*1~1.3*2	0.3~0.6%
日本	2008年	1.4*2	0.7%
	2011年	0.67*1	0.31%

出典:食品安全委員会

*1 積算によるトランス脂肪酸摂取量の算出
(各食品群のトランス脂肪酸量の分析結果と国レベルの大きな栄養調査結果から、国民1人あたりの一日に摂取するトランス脂肪酸量を算出。アメリカの場合は、20歳以上の大人での調査結果)
*2 食用加工油脂の生産量からのトランス脂肪酸摂取量の推計

NEW
不二家「ミルキー」のおいしさが楽しめるパンスプレッド

Milky ソフト



©2018 FUJIYA CO., LTD.

ミルキーソフト 140g

不二家「ミルキー」のおいしさをパンにぬって楽しめます。

パンのおいしさを引き立てる豊かなミルク感とほのかな甘さの練乳風味を味わえます。

SNSでも話題になっています。



ホットケーキやパンにのせて楽しめます

『恵 megumi ガセリ菌SP株ヨーグルト』のトクホ化と新フレーバーの発売

『恵 megumi ガセリ菌SP株ヨーグルト』

『特定保健用食品』(トクホ)の表示許可を受けました

『恵 megumi ガセリ菌SP株ヨーグルト』は、トクホの表示許可を受けたことによる「差別化」を図ることでさらなる成長を目指します。



内臓脂肪を減らすのを助ける

恵 megumi
ガセリ菌SP株ヨーグルト
100g

NEW 『恵 megumi ガセリ菌SP株ヨーグルトドリンクタイプ ベリーミックス』

人気のドリンクタイプにベリーの酸味を活かしたすっきりとした風味の商品を3月に新発売。

既存のプレーンタイプと同じ機能性表示食品です。

好評発売中

恵 megumi
ガセリ菌SP株
ヨーグルト
ドリンクタイプ
100g



NEW

恵 megumi
ガセリ菌SP株
ヨーグルト
ドリンクタイプ
ベリーミックス
100g

新CMのご紹介



幅広い人気の向井理さんを起用し、ドリンクタイプは新商品の告知、個食タイプは新たに『特定保健用食品』(トクホ)の表示許可を受けたことをお伝えしています。

ガセリ菌SP株ヨーグルトドリンクタイプを作っている工場の見学ができます

雪印メグミルクの海老名工場(神奈川県)、京都工場(京都府)で、ガセリ菌SP株ヨーグルトドリンクタイプの製造工程の見学ができます。ヨーグルトのことをもっとよく知ってみませんか。

詳しくは雪印メグミルクホームページをご覧ください。
<http://www.meg-snow.com/fun/factory/>

海老名工場



生産商品



京都工場



生産商品



ガセリ菌SP株ヨーグルトアロエと豆乳仕立ても好評発売中です



中期経営計画の達成に向けて

2017年5月に、雪印メグミルクグループの今後10年間の羅針盤「グループ長期ビジョン2026」と、その第1ステージとなる3年計画「グループ中期経営計画2019」を策定しました。中期経営計画の2年目にあたる当期は「成長シナリオの実現」に取り組み、当社グループの成長を加速させる基盤を作っていきます。

利益成長シナリオの実現

高付加価値商品ガセリ菌SP株ヨーグルトの販売拡大

2018年3月に京都工場で小型プラボトルタイプドリンクヨーグルトのラインを増設、稼動しました。生産能力は海老名工場を含め当初の4倍となり、今後の販売拡大に向けた体制を整えました。



京都工場外観

京都工場のプラボトルのライン

将来の成長に向け先行投資している海外事業・ニュートリション事業の収益貢献

海外事業

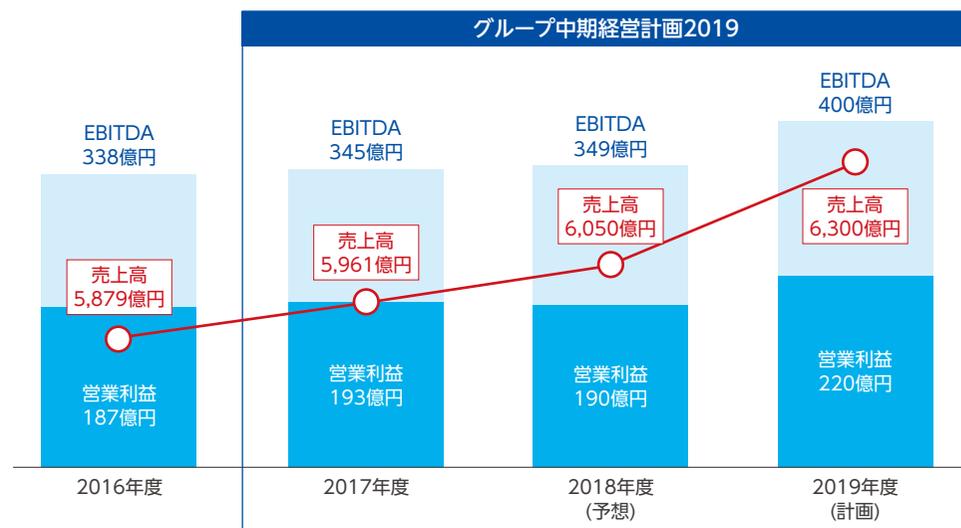
- 粉ミルク事業はアジア市場での展開を推進
- チーズ事業は国内産チーズに加え、インドネシアからのボーダレス展開を推進
- オーストラリアでは、2017年9月にアダーデライツオーストラリア(有)の株式の90%を取得し、雪印オーストラリア(有)と共にカビ系ナチュラルチーズの事業拡大を推進

ニュートリション事業

- 機能性食品は『毎日骨ケア MBP®』などの通販チャネルでの展開、粉ミルクは大人向け粉ミルク『プラチナミルク』など独自性ある事業展開を推進
- 2015年より取り組んでいる第3回全国母乳調査を通じて、独自性のある育児用粉ミルクの展開に向け、母乳研究の取組みを推進

「利益成長シナリオの実現」の主要課題に取り組み、2019年度に220億円の営業利益の達成を目指します。

中期経営計画			
	第1ステージ	第2ステージ	第3ステージ
	2017~2019	2020~2022	2023~2026
位置付け	Transformation (変革) の始動 グループ経営の始動・推進	Transformation (変革) の加速 グループ経営の展開強化	Renewal (進化) へ グループ経営の加速・進化
役割	<ul style="list-style-type: none"> • 収益基盤の複数化 • キャッシュフローの最大化 • 生産体制進化への着手 	<ul style="list-style-type: none"> • 収益基盤の確立 • 生産体制進化の本格始動 	<ul style="list-style-type: none"> • 4事業分野による収益の安定的創出 • 調達・生産体制の確立



環境 中標津町の森林保全に協力しています

2017年11月9日に北海道標津郡中標津町の「中標津町町有林J-クレジット」を購入しました。このクレジットは、中標津町の「格子状防風林」の適切な間伐を実施し森林の健全育成を図り森林のCO₂吸収量を高めることで地球温暖化防止に寄与し、ひいては生物多様性の維持に寄与することを目的としています。



中標津町町有林(格子状防風林)



J-クレジット 購入証明書
贈呈式

スポーツ スキージャンプの応援ありがとうございました

平昌大会ではメダルには届きませんでしたが、皆様の温かい応援に心より感謝申し上げます。

引き続き応援をよろしくお願い申し上げます。

代表選手



伊東 大貴 選手 小林 潤志郎 選手

持続可能な資源の利用 RSPO(持続可能なパーム油のための円卓会議)に加盟します

パーム油はアブラヤシの果実から得られる油脂で、近年世界で需要が急速に伸びています。そのため、農園開発がマレーシア、インドネシアを中心に大規模に行なわれ、多くの熱帯雨林が違法に伐採され、焼き払われています。また、農園での労働者問題、特に児童労働などの温床になっているとの指摘もされています。

このように、パーム油の生産は環境・社会に深刻な問題を引き起こしています。このような問題に取り組むため、2004年に認証機関「RSPO(持続可能なパーム油のための円卓会議)」が設立されました。雪印メグミルクも、健全なパーム油産業の発展を目指す趣旨に賛同し、RSPOに加盟します。



食育 春休み親子酪農体験と牛乳工場見学会

2018年3月に京都府南丹保健所との共催で、「春休み親子酪農体験と牛乳工場見学会」が京都工場池上製造所と近隣の谷牧場で開催されました。

このイベントは、酪農の現場を体験し、牛乳・ヨーグルトが製造される工場を見学してもらう子育て応援イベントです。

好天に恵まれ、皆様楽しんでいただきました。



グループ会社紹介

グループ会社 八ヶ岳乳業株式会社の紹介

広大な大自然がおりなす八ヶ岳高原、恵まれた環境から高度集約酪農地域第一号の指定を受け、その重責を担う中核工場として、1954年山梨県小淵沢町に八ヶ岳酪農協同株式会社として創業しました。

現在は、長野県と山梨県にまたがる八ヶ岳連峰の麓で、牛乳類、醗酵乳、シュレッドチーズの雪印メグミルクの受託を含め、製造販売を行なっています。

2017年10月に新しいCI(コーポレート・アイデンティティ)をスタートさせ、会社のロゴを刷新しました。併せて、より環境に配慮した企業活動をするために、2018年2月にISO14001を取得しました。

大自然に恵まれた高品質の原料乳をもとに安心安全を第一とし、これからも楽しみ・味わい・豊かさを感じていただける食文化の創造に挑戦していきます。

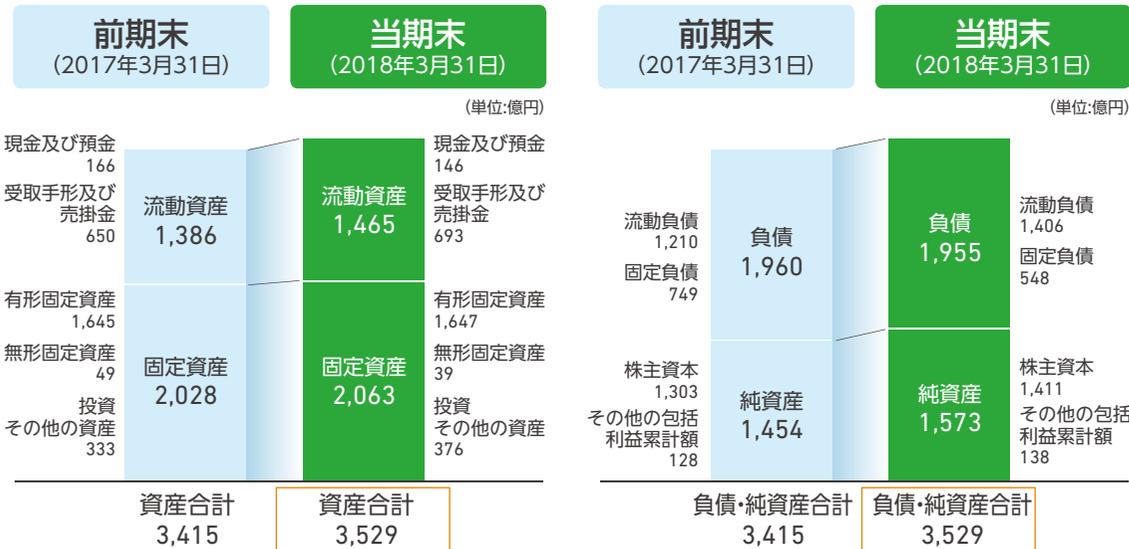
ハヶ岳乳業



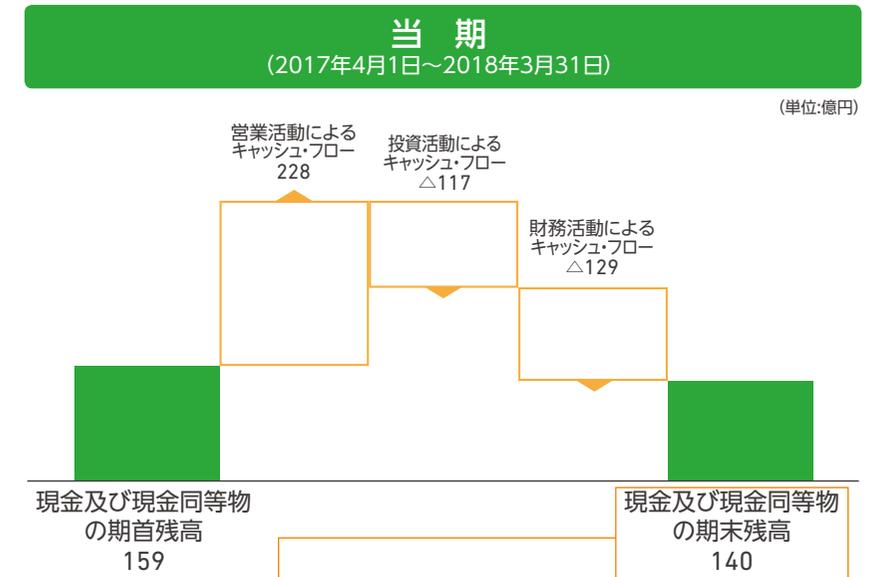
八ヶ岳乳業本社(長野県茅野市)

財務状況

連結貸借対照表の概要



連結キャッシュ・フロー計算書の概要



ポイント 資産

総資産は、前期末と比較して113億円の増加となりました。

流動資産: 78億円増加

売上債権 +42億円
現金及び預金 △20億円
たな卸資産 +54億円

固定資産: 35億円増加

有形固定資産 +1億円
無形固定資産 △10億円
投資有価証券 +33億円

ポイント 負債・純資産

負債は、前期末と比較して4億円の減少となりました。

流動負債: 196億円増加

仕入債務 +46億円
短期借入金 +124億円

固定負債: 200億円減少

長期借入金 △202億円

純資産は、前期末と比較して118億円の増加となりました。

株主資本: 107億円増加

その他の包括利益累計額: 10億円増加

自己資本比率は、前期末と比較して2.0ポイント改善し、43.9%となりました。

ポイント 連結キャッシュ・フロー計算書

営業活動によるキャッシュ・フロー: 228億円の収入

税金等調整前当期純利益 +190億円 減価償却費 +151億円
仕入債務の増加 +45億円 売上債権の増加額 △41億円
法人税等の支払額 △52億円 たな卸資産の増加 △54億円

投資活動によるキャッシュ・フロー: 117億円の支出

有形及び無形固定資産の取得による支出 △122億円

財務活動によるキャッシュ・フロー: 129億円の支出

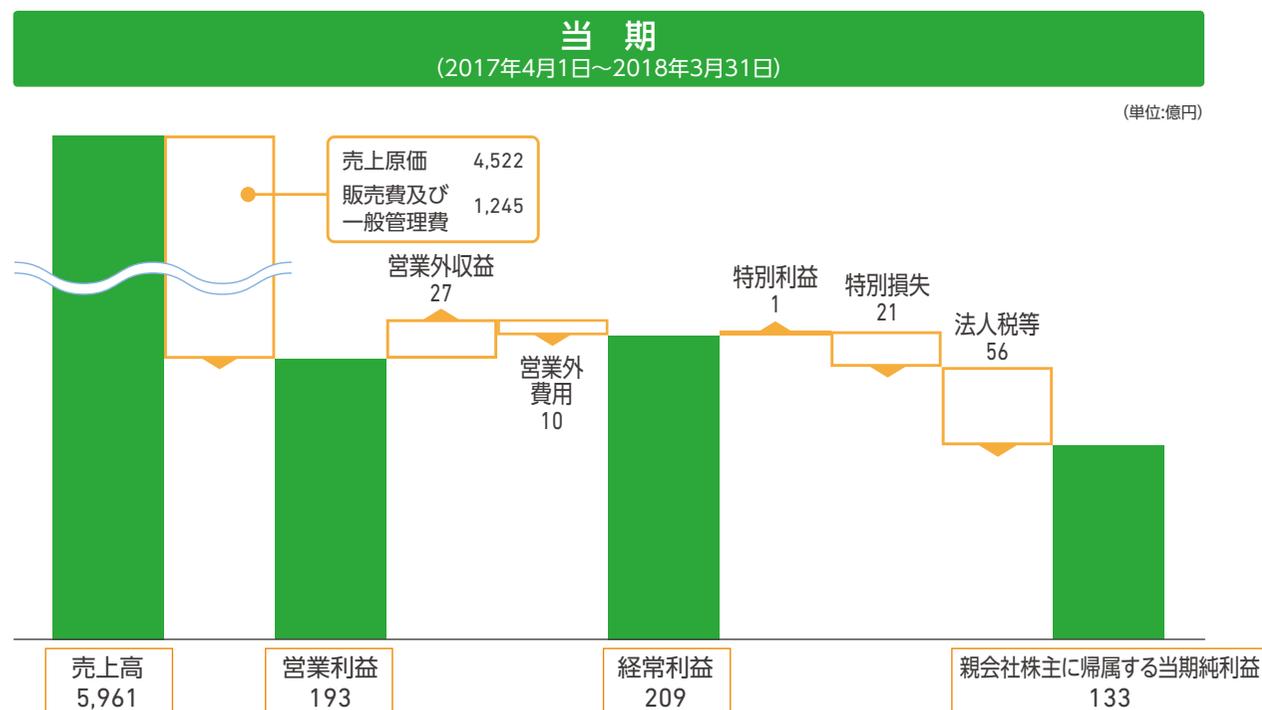
借入金および返済 △77億円
配当金の支払額 △27億円

期首に159億円であった現金及び現金同等物の残高は、当期末では140億円となり、18億円の減少となりました。

連結損益計算書の概要

(単位:億円)

(単位:億円)	前期 (2016年4月1日～ 2017年3月31日)	当期 (2017年4月1日～ 2018年3月31日)	増減額	来期予想 (2018年4月1日～ 2019年3月31日)
売上高	5,879	5,961	82	6,050
営業利益	187	193	6	190
経常利益	202	209	7	200
親会社株主に 帰属する 当期純利益	129	133	3	135



ポイント 売上高

チーズやヨーグルトの主力商品の販売が好調に推移し、前期と比較して82億円の増収となりました。

➤ 9ページでセグメント別にご説明しています

営業利益

営業利益は、193億円となりました。増益要因は、販売物量増加による利益増が20億円、コストダウンによる利益増が10億円など、合計で43億円の利益増となりました。一方、減益要因は、宣伝促進費の増加による利益減が8億円、エネルギーコストの上昇による利益減が8億円、原料乳買入れ価格の上昇による利益減が8億円など、合計で37億円の利益減となりました。よって、営業利益は前期と比較して6億円の増益となりました。

ポイント 経常利益・親会社株主に帰属する当期純利益

経常利益は、持分法による投資利益の増加などで営業利益よりも増益幅が拡大しました。

経常利益の7億円の増益に対して、親会社株主に帰属する当期純利益は、前期と比較して3億円の増益となりました。前期と比較して特別利益が1億円

減少、減損損失の減少などで特別損失が6億円減少、法人税等が8億円増加したことが主な原因です。

セグメント別業績の概況

乳製品

乳製品(チーズ、バター、粉乳等)、油脂、ニュートリション事業(機能性食品、育児用粉乳等) ほか



売上高構成比 **40%**

売上高



営業利益



売上高は、油脂は市場の低迷が続き減少しました。バターは安定供給に引き続き取り組みました。チーズは市場が伸長する中で、プロモーション活動の効果により6Pチーズや『さけるチーズ』を中心に好調に推移したこと、機能性食品は特定保健用食品の『毎日骨ケアMBP®』がマーケティング投資により伸長したことなどから、当セグメント全体では増収となりました。営業利益は、宣伝促進費や原材料コストは増加しましたが、チーズの販売が拡大したことなどから増益となりました。

飲料・デザート類

飲料(牛乳類、果汁飲料等)、ヨーグルト、デザート ほか



売上高構成比 **46%**

売上高



営業利益



売上高は、ヨーグルトは当社保有の乳酸菌「ガセリ菌SP株」の機能訴求に継続して取り組んだことから堅調に推移した一方で、飲料は市場低迷の影響により減少したことなどから、当セグメント全体では微減収となりました。営業利益は、ロジスティクス費用は増加しましたが、機能性ヨーグルトの販売が拡大したことなどから増益となりました。

飼料・種苗

牛用飼料、牧草・飼料作物種子、野菜種子 ほか



売上高構成比 **8%**

売上高

447 億円 (前期比104.0%)

(億円)



営業利益

13 億円 (前期比107.6%)

(億円)



当期は、牧草・飼料作物種子の販売増加などにより、増収増益となりました。新研究棟を活かした商品開発の推進など、将来の成長に向けた収益基盤の強化を図りました。

その他

不動産賃貸、共同配送センター事業 ほか

売上高構成比 **6%**

売上高

361 億円 (前期比103.2%)

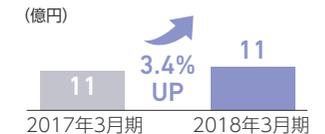
(億円)



営業利益

11 億円 (前期比103.4%)

(億円)



会社概要・株式の状況

会社概要 2018年3月31日現在

商号 雪印メグミルク株式会社
 事業内容 牛乳、乳製品および食品の製造・販売等
 本店所在地 (本社)
 東京都新宿区四谷本塩町5番1号
 (登記上本店)
 北海道札幌市東区苗穂町6丁目1番1号
 設立年月日 2009年10月1日
 資本金 200億円
 決算期 3月31日
 従業員数 5,009名(連結)

経営体制 2018年6月27日現在

代表取締役社長 西尾 啓 治
 代表取締役副社長 西馬場 茂
 代表取締役副社長 石田 隆 廣
 取締役専務執行役員 幸坂 眞 也
 取締役専務執行役員 土岡 英 明
 取締役常務執行役員 城端 克 行
 取締役常務執行役員 小坂橋 正 人
 取締役常務執行役員 本井 秀 樹
 取締役(社外) 阿南 久 忍
 取締役監査等委員 千 葉 生
 取締役監査等委員(社外) 西川 郁 生
 取締役監査等委員(社外) 服部 明 人
 常務執行役員 池浦 靖 夫
 常務執行役員 内田 彰 彦
 常務執行役員 板橋 登志雄
 常務執行役員 末安 亮 一
 常務執行役員 川崎 功 博
 常務執行役員 大貝 浩 平
 常務執行役員 保倉 一 雄
 常務執行役員 倉持 裕 司
 執行役員 渡辺 滋
 執行役員 柴田 貴 宏
 執行役員 芹 澤 篤

株式の状況 2018年3月31日現在

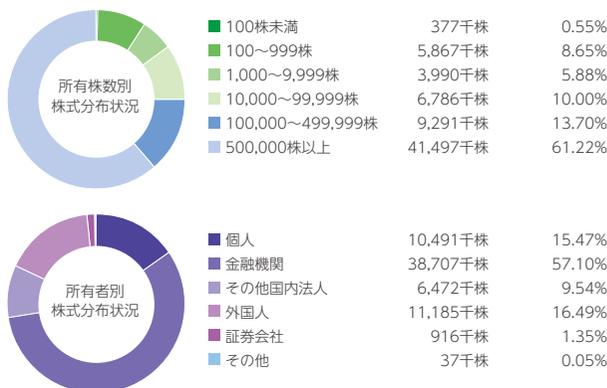
発行可能株式総数.....280,000,000株
 発行済株式の総数.....70,751,855株
 株主数.....51,233名

大株主(上位10位) 2018年3月31日現在

株主名	持株数 (千株)	出資比率 (%)
全国農業協同組合連合会	9,237	13.62
農林中央金庫	6,728	9.92
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (三井住友信託銀行再信託分・伊藤忠商事株式 会社退職給付信託口)	3,703	5.46
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	2,866	4.22
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	2,703	3.98
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口9)	1,435	2.11
GOVERNMENT OF NORWAY	1,199	1.76
雪印メグミルク従業員持株会	1,117	1.64
株式会社三菱東京UFJ銀行	1,083	1.59
ホクレン農業協同組合連合会	1,074	1.58

(注1) 株主数は、千株未満を切り捨て表示しています。
 (注2) 当社は、自己株式2,941,743株を保有しておりますが、上記大株主から除外しております。
 また、出資比率は自己株式を控除して計算しております。

株式の分布状況 2018年3月31日現在



(注1) 株主数は、千株未満を切り捨て表示しています。
 (注2) 当社は、自己株式2,941,743株を保有しておりますが、上記からは控除して計算しております。

株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
 定時株主総会 毎年6月
 基準日 毎年3月31日
 (当社は中間配当制度を採用しておりません)
 単元株式数 100株
 株主名簿管理人 みずほ信託銀行株式会社
 公告方法 電子公告により行ない、その公告は、当社ホームページの下記アドレスに掲載いたします。
 ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。
<http://www.meg-snow.com/ir/notification/>
 上場取引所 東京および札幌

株式の手続きに関するお問合せ先・郵便物送付先

当社株式を証券会社等の口座でお持ちの場合

お取引の証券会社等になります。
 ただし、配当金の支払明細の発行および未払配当金の支払いにつきましては、みずほ信託銀行株式会社証券代行部で承ります。連絡先は下記をご参照ください。

当社株式を証券会社等の口座でお持ちでない場合(特別口座の場合)

みずほ信託銀行株式会社証券代行部になります。連絡先は下記をご参照ください。
 取次所 みずほ信託銀行株式会社 本店および全国各支店
 みずほ証券株式会社
 本店、全国各支店およびプラネットブース(みずほ銀行内の店舗)
 このほか、未払配当金の支払いは、みずほ銀行株式会社本店および全国各支店でもお取次ぎいたします。

株主名簿管理人(特別口座管理機関)の連絡先

〒168-8507 東京都杉並区和泉2丁目8番4号
 みずほ信託銀行株式会社証券代行部
 電話 0120-288-324(フリーダイヤル)
 受付時間 9:00~17:00(土、日、休日を除く)

株主総会決議ご通知

2018年6月27日開催の当社第9回定時株主総会において、下記のとおり報告および決議されましたので、ご通知申し上げます。

記

報告事項

第9期(2017年4月1日から2018年3月31日まで)事業報告、連結計算書類および計算書類ならびに会計監査人および監査等委員会の連結計算書類監査結果報告の件
本件は、上記事業報告、連結計算書類および計算書類の内容ならびにその監査結果を報告いたしました。

決議事項

第1号議案 取締役(監査等委員である取締役を除く。)9名選任の件

本件は、原案どおり、西尾啓治氏、西馬場茂氏、石田隆廣氏、幸坂眞也氏、土岡英明氏、城端克行氏、小坂橋正人氏、本井秀樹氏および阿南久氏が選任され、就任いたしました。

第2号議案 監査等委員である取締役3名選任の件

本件は、原案どおり、千葉忍氏、西川郁生氏および服部明人氏が選任され、就任いたしました。

第3号議案 補欠の監査等委員である取締役2名選任の件

本件は、原案どおり、大森節也氏および真鍋朝彦氏が選任されました。

なお、大森節也氏は監査等委員である取締役 千葉忍氏の、また真鍋朝彦氏は監査等委員である取締役 西川郁生氏および服部明人氏の補欠であります。

第4号議案 当社株式等の大量買付行為に関する対応方針(買収防衛策)継続の件

本件は、原案どおり承認可決されました。

以上

雪印メグミルクのお料理レシピ



6Pチーズのオリーブオイル漬け ~パスタアレンジ~

茹でたパスタにオイルごと和えるだけで、パスタサラダの完成。パプリカ、ラディッシュ、ミニトマトなどの野菜も加えれば、彩り豊かな一品になります。

材料(約400mlの保存瓶1本分)

6Pチーズ 6個
オリーブ(緑・黒) 各10g
にんにく 1片(またはにんにくチップ適量)

[A] 塩・粗びき黒こしょう 各少々
バジル(ドライ)・オレガノ(ドライ)など
お好みのハーブ類 適量
ピンクペッパー 適量
唐辛子 適宜



6Pチーズ
108g(6個入り)

オリーブ油 100g

作り方

- 1) チーズはサイコロ状に切る。オリーブ、にんにくは薄く切る。
- 2) 保存瓶に1)と[A]を入れ、オリーブ油を注ぐ。
※オリーブ油の分量は目安です。チーズが完全に浸るくらいが適量です。
- 3) 冷蔵庫に入れ、1週間ほど漬ける。
※オリーブ油は低温でかたまることがあります。かたまつた場合は、少しの間常温においてからお召し上がりください。

※他にも、当社商品を使ったレシピが当社ホームページに多数掲載されています。

雪印メグミルクのお料理レシピ

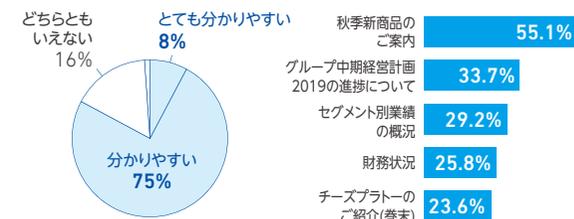
検索



株主様アンケート結果のご報告

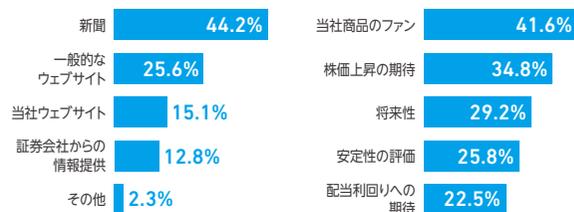
第9期中間株主通信「株主様アンケート」に多くの株主様にお答えいただきありがとうございました。寄せられたお声をご紹介します。

Q 第9期中間株主通信は分かりやすかったですか。 Q 第9期中間株主通信に興味をもった記事は?(3つまで)上位5つ



「とても分かりやすい」「分かりやすい」を合わせると8割の方が分かりやすいとお答えいただいています。 新商品の紹介、裏表紙のチーズプラトーにもご興味を持っていただきました。

Q 投資先を検討する際に参考にする情報源(3つまで)上位5つ Q 当社株式の購入理由を教えてください(3つまで)上位5つ



情報源としてもっとも多い回答は「新聞」でした。「当社商品のファン」の回答が最も多かったです。ありがとうございます。

これからも皆様に喜ばれる商品を作っていきます。

雪印メグミルク株式会社



見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。